

第 1498 回例会報告

平成29年3月16日(木)曇り

会長挨拶

会長 河西達雄

震災から六年

東北大震災から6年が経ちました。あの胸がつぶれるような、何とも言えない切ない気持ちが私自身を支配しむなしい気分半年ほど襲われました。今でも鮮明に思い出します。

さて私たちが復興支援のために商品を購入したり(本年も購入しました)、翌年支援のために旅行に行った「南三陸町」のさんさん商店街がいよいよ復興し10m以上かさ上げした元の商店街の場所に新しい商店街が出来上がりました。

あれからず〜と支援を続けてきた「NPO法人匠の街しもすわあきないプロジェクト」が、そのオープンセレモニーに招かれ以前ロータリークラブで講演をしていただいた原さんと私の娘が出席してきました。震災直後「良く明るく笑っていられますね」とわたやのおばちゃんに話しかけたら「笑っているしかないじゃん」と答えた言葉に胸のつぶれる思いがしました。そして今回の訪問で、心底のわたやのおばちゃんが笑顔を見せてくれたとの報告に心からうれしく思いました。今しばらくは定期的な支援を続けるそうです。

また翌週長崎会員が、同級生のお仲間と同じく南三陸町を訪ねたそうです。やはりこの6年「お山のマドレーヌ」を通じて支援し続けてきた結果の支

援金をたくさん持ってオーイング工房の RYO さんにお届けしたそうです。誰もがいろいろな形で支援を続けているのだなーと思いました。

ところが、大震災の当日、普通に営業していましたが、町内の防災無線を通じて「まもなく大震災の時を迎えます。黙とうを捧げましょうと、2〜3回ほど放送が流れました。当選黙とうを捧げなくてはと準備していたところ折足悪く来客がありました。黙とうが始まったまさにその時、レジに品物を清算のため差し出しました。思わず「申し訳ございません。黙とうさせてください」とお話しして黙とうを始めました。1分後若干気まずい思いで「ありがとうございました」と清算を始めました。

自分が逆の立場だったらどうだったろうと思いつつ、やはり記憶は風化しているのだと思いました。もっとも私自身も特別の日であった3.11以外の日は東北に深く思いを寄せることもないような日々を送っていますので、あまり大きなことを言えませんが・・・。

◇幹事報告◇

【理事会報告】

1)4月例会予定

3月27日に一斉ファックスにて送信いたします

2)定款・内規・細則検討委員会

標準クラブ定款の変更に伴い、クラブの定款を検討する委員会を立ち上げることになりました。委員は現会長、幹事、会長エレクト、幹事予定者、長崎会員、三村会員で構成します

■出席報告

会員数	37名
出席対象	37名
出席者数	28名
出席率	77.8%
前回修正	88.9%

■ニコニコBOX

5名	10,000円
累計	406,300円
目標額	60万円
達成率	67.7%

■今週のことば

確定申告無事終わりました。ありがとうございました。
宮沢孝良

請われて160万円を用立てしました。友とお金の両方を失ってしまうかも・・・ということは覚悟しています。奉仕の人!!

丸山美樹彦



第 1498 回例会

「安全な水と衛生環境のために」

小松孝弘会員卓話

担当 クラブ会報・雑誌広報委員会

3月のRIのテーマは「水と衛生」月間です。かつてマクタン島の劣悪な水環境の改善に、ロータリーのマッチンググラントを使って改善を成し遂げた小松孝弘会員の経験をお話いただきました。

3月22日は「世界水の日」です。私たちの住む日本ではどこでも水道から安全な水を飲むことが出来る。しかしそうした国は世界中でも数か国しかない。



73億9000万人世界の人口のうち11億人が清潔な飲料水不足に直面している。毎日口にしていない不衛生な水で5歳未満の子供が命を失っている数は年間180万人となり1日約5000人になる。安全な水を供給することが「命を守ることなのです」

安全な「水」のためには、井戸掘り・水道設備・浄水器・整水器・水の宅配・化学薬品処理が考えられ、およそ1万のクラブがプロジェクトを組んでいる。

しかし安全でない水と飢餓人口と重なり益々状況を悪くしている。水・衛生・飢餓これは3点セットで考える必要があると考えます。

「クリーン・ウォーター・プロジェクト」

さて、マッチンググラントの舞台となったフィリピン・セブは、日本より南西に約4000Km 飛行機で約4～5 時間にあります。総面積約30万平方K (日本の8割) 大小 7109 個の島で構成され、総人口約9200万人セブ島は140 万人です。マッチング・グラントを利用した「クリーン・ウォーター・プロジェクト」は次の通りでした。

事業内容: 深井戸の掘削15箇所
 総予算: 12,000\$ 内訳 援助クラブ 3,000\$ 実施国クラブ 1,000\$ 2600 地区 3,000\$ RI財団 5,000\$
 実施国: フィリピン。セブ市とマクタン島
 共同実施者: セブ市グァダルーペRC

2007年6月現地にて申請書の作成開始。10月RI申請書を提出、11月7日受理・指定番号#64878。2008年5月22日正式に承認。6月5日承認通知書簡を受取る

11月セブの指定銀行に12,000\$ドルを振り込み井戸掘削作業を開始する。

2010年6月、15基の井戸完成し最終報告書作成。この最終報告書の作成は、大変な苦労をした

マッチング・グラントとは何か

マッチング・グラントは、国際的な人道的プロジェクトを支援するものです。少なくとも2国のロータリー・クラブまたは地区が、協力してプロジェクトの計画・実施に取り組みます。現在のグローバル補助金にかなり近いものです。

申請できるのは誰か

2カ国以上のロータリー・クラブと地区が申請することができます。申請するクラブや地区は、国際ロータリーに対する義務を完全に履行していなければなりません。

これには、人頭分担金の支払いや、以前の補助金の報告をすべて提出していることなどが含まれます。

マッチング・グラントの要件には何があるか

マッチング・グラントでは、プロジェクト実施国(ホスト国)のロータリー・クラブや地区と、援助国(実施国)のロータリー・クラブや地区が、人道的プロジェクトの実施に関与しなければなりません。

協同提唱者には以下が求められています。

- ・プロジェクト実施中、連絡を絶えず維持すること
- ・プロジェクトを監督する少なくとも3名のロータリアンから成る委員会を双方とも設置すること。
- ・ロータリー財団の資金を神聖な信託財産として扱うこと。
- ・透明で正確な会計を維持すること。
- ・すべてのプロジェクトは、ロータリアンが積極的に参加し、監督しなければなりません。積極的な参加とは以下のようなことを指します。
- ・プロジェクト資金を管理すること。
- ・必要に応じてプロジェクト実施現場を訪れること
- ・援助国および実施国のクラブが、連絡を通じて情報を共有すること。
- ・協同提唱者同士が専門知識や技術を分かち合うこと。
- ・購入、発送、購入品目の配布などを行うこと。
- ・地元メディアや地区に対してプロジェクトを広報すること。など厳しい制約があります。